

旧簡易水道事業等の今後の分析の方向性

令和2年2月

総務省自治財政局公営企業経営室

統合上水道に係る追加調査について

1 現状・課題

- 毎年度実施している「地方公営企業決算状況調査」では、各年度末時点の上水道事業及び簡易水道事業の決算が報告されているが、統合の時期や形態に係る情報や現在の旧簡易水道区域の有収水量や施設の状況は、当該調査から把握することが困難であることから、別途追加調査が必要。

2 追加調査を行う事項

- 「地方公営企業決算状況調査」で把握できない情報として、以下の2つの追加調査を実施。

①統合の時期や形態に係る情報(調査済)

- 統合した簡易水道事業数
- 統合の形態
(「簡水+簡水⇒上水」、「上水+簡水⇒上水」)
- 最終統合年月日
- 旧簡易水道区域の給水人口

②現在の旧簡易水道区域の有収水量 や施設の状況(調査中)

- 管路延長
- 給水区域面積
- 浄水場数・配水池数
- 年間総有収水量

(参考) 「地方公営企業決算状況調査」により把握可能な情報

⇒ 簡易水道統合後の上水道事業に係る給水原価、資本費、料金回収率、水道料金、管路延長等

統合上水道に係る調査分析の方向性

統合上水道に係る検討課題

- 統合上水道に係る経営状況を検討するためには、以下の事項の検討が必要ではないか。

検討事項① 統合上水道の経営状況は、統合の形態ごとに、他の上水道事業と比較しどのような違いがあるのか。

検討事項② 統合上水道の経営状況が厳しい団体においては、どのような要因があるのか。

統合上水道に係る調査・分析の方向性に関してご議論いただきたい点

- 検討課題ごとにどのような調査・分析方法が適しているのか。例えば、以下の分析方法があり得るのではないか。

【検討課題①】 統合上水道の経営状況は、統合の形態ごとに、他の上水道事業と比較しどのような違いがあるのか。

以下の統合の形態ごとに現在の「資本費」や「料金単価」を上水道全体の水準と比較。

①簡+簡=上パターン ②簡+上=上パターン ③簡+上=上（簡水も併存）パターン

【検討課題②】 統合上水道の経営状況が厳しい団体においては、どのような要因があるのか。

・ 統合上水道の資本費と以下の経営指標の相関関係を分析。

- 有収水量1m³当たりの管路延長
- 旧簡易水道地区の「管路延長」及び「浄水場数・配水池数」の割合

簡易水道に係る調査分析の方向性

簡易水道に係る検討課題

- 多くの簡易水道で法適化に向けた作業が進行中であり、現状では、固定資産台帳が作成中であるため、資産の老朽化や更新の状況や、減価償却費を加味した経営の状況を把握できない。
- このため、各団体における今後の持続可能性の確保に向けた取組についての調査を行う中で、人口の少ない地域における持続的な水道サービスの提供に向けた方策を検討する。

簡易水道に係る調査・分析の方向性に関してご議論いただきたい点

- 簡易水道における今後の持続可能性の確保に向けた取組について、アンケート調査を実施。具体的には、効率的な管理の方法やメンテナンス人員の確保に向けた取組などについて調査。